



寄って 話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

親しらず 子しらず

～親子関係を振り返る～



イラスト：うじな かずひこ

中学生・高校生など青少年の時期は、自分の親でさえも口うるさく感じる場合があります。

「親になるって、どんな気持ちなのだろう」「親になったら、どんな生活が待っているのだろう」…将来の自分の姿を想像してみましょう。

自分と親との関係にも、少しは変化が現れるかも！？

広島県教育委員会

親の役割とはどのようなことだと思いますか。三つ挙げてみましょう。

- ①
- ②
- ③

- あなたの親（保護者）も、昔は、あなたと同じような若い時期がありました。もしかしたら、あなたと同じように、自分の親（保護者）のことを口うるさく感じていたかもしれません。
- 機会があれば、このワークシートを親（保護者）に見せて、一緒に話をしてみましょう。家庭内での約束やお互いの思いについて、ゆっくりおしゃべりしてみるといいですね。

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

県民の皆さんの声（広島県教育モニターアンケートより）

◆高校生の娘に関しては、何をしてもうまくいきません。干渉しないことで、自分の精神安定を図っています。

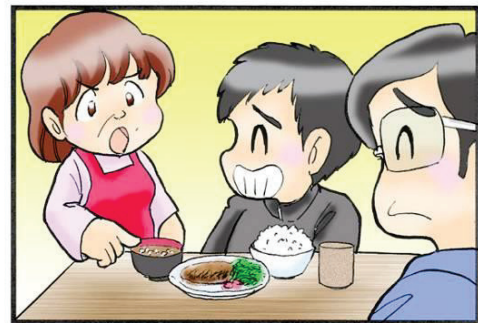


◆わが道を行くタイプの息子はどんなハプニングを起こすのかひやひやの毎日でした。人がみればしつけができてないと思われていたと思います。しかし、なんにでも興味を持って走り回る彼を止めることはできませんでした。中3になった今、想像以上に物事を深く考えている事があり、びっくりすることもあります。無理に押さえつけなくてよかったと今では思っています。

お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

エピソードを読みましょう

① 中学校3年生のダイスケくんは、高校受験を控えて学習塾に通っています。学習塾には同級生のサイトウくんも通っており、帰り道に、一緒に買い食いすることも、しばしばあります。今日は、先週実施された模擬試験の復習をしていて遅くなり、お腹が減ったので、帰り道にサイトウくんとコンビニエンスストアに寄り、肉まんなどを食べて、帰宅したのは、午後10時をかなりまわっていました。



② 母「何時だと思ってるの！心配するでしょ！
こんな遅くまで、何してたの？」
ダイスケ「残って先生に勉強してもらってたんだよ。今日は遅くなるって、ちゃんと言ってたじゃないか」
母「遅くなる時は連絡するという約束でしょ。ちゃんと約束は守ってちょうだいね」
ダイスケ「だったら、ケータイ買ってよ。すぐに連絡できるから。友だちはみんな持ってるんだよ」

父「確かに、そろそろダイスケにも携帯電話を持たせてやる時期なのかもな」
母「また、お父さんは甘いことばかり言って。ダメよ！携帯電話は高校生になってからだって何度も言ってるでしょ」

③ 母「それより、夕飯食べなさい」
ダイスケ「肉まん食べたから、あまりお腹は減ってないよ。ごはんの量を減らしてよ。」
母「今日もサイトウくんと買い食いして帰ったの？お母さん、ダイちゃんのために、一生懸命ごはん作ったのよ」
ダイスケ「つきあいよ、つきあい」
父「友だちつきあいも、大事だからな」
母「お父さんは黙ってて！栄養のバランスがあるんだから。ちゃんと、全部食べなさいよ」
ダイスケ「量が多いよ」
母「そんなことないわよ。野菜も残さず食べなさいよ！」
ダイスケ「わかったよ…」
母「ところで、この前の模試の結果はどうだった？
後で見せなさいよ」
ダイスケ「ハイハイ…」
母「さっさと食べて、勉強、勉強」
父「食事中なんだから、勉強の話は後でいいじゃないか」
母「のんきなこと言ってる場合じゃないんだってば！
分かってるよね、ダイちゃん」
ダイスケ「分かっているって…」
3人「ふーっ」

ダイスケ君の家でよくある普通の光景です…。



考えましょう、出し合しましょう

① あなたの家で、似たようなことはありませんか。具体的に書いてみましょう。

② ダイスケくんの母親、父親についてどう思いますか。

③ ダイスケくんになったつもりで、気持ちを母親、父親に伝えましょう。

④ もしあなたが親になったら、このような場面で子供になんと言うでしょうか。想像して書いてみましょう。